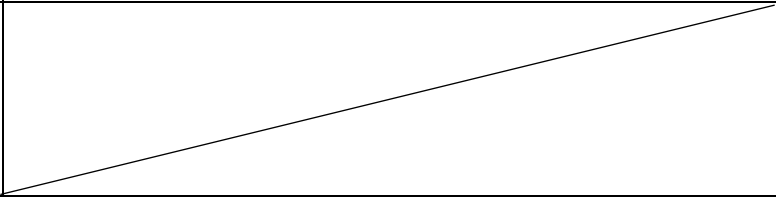


## 令和7年度第1回 みんなで支える森林づくり北アルプス地域会議の意見について（回答）

## 1 地域会議で挙げられた意見等

| 構成員からの意見  | 地域会議事務局の見解   | 本庁担当課の見解  |
|---|--|---|
| <p>「やまほいくのフィールド整備や学校林の整備等」及び「木造・木質化支援事業」などは要望がない<br/>「補助メニューが使いづらい」「内容が周知されていない」ということが考えられる。</p>                    | <p>事例を把握し広報に繋げたい。</p>  |    |
| <p>再造林推進シカ捕獲サポート事業について、クマの錯誤捕獲のリスクがあり林業事業者の見回りは人身事故の危険があり、市町村として事業化に至らない。</p>                                       | <p>補助メニューを見直し、「猟友会のシカ捕獲経費」を追加する。<br/>ただし、森林税活用の意義から捕獲場所は再造林地周辺とする。</p> | <p>※本事業はR7末までで廃止予定。<br/>・林内捕獲サポート隊による見回りについては、車の中から確認できる範囲に留めるなど、見回り者の安全に配慮した方法での実施を検討されたい。<br/>・農林業被害地での有害鳥獣捕獲については、市町村の被害対策実施隊が実施することがほとんどと認識。実施隊による捕獲に対する支援は別事業により対応しているので、そちらを活用されたい。<br/>(担当：森林づくり推進課 鳥獣対策係)</p> |
| <p>・ライフライン等保全のための支障木等伐採は地域の課題である。森林環境譲与税は林業事業者が行わない手遅れ人工林の整備とされており活用できない。このため、森林づくり県民税活用事業の「市町村森林整備支援事業」の増額を望む。</p> |  | <p>当該事業については、第4期森林税計画期間の前期から事業要望が多く、予算を前倒して対応しており、現行の「みんなで支える森林づくり県民税に関する基本方針」で示している目標値を今年度末で達成する見込み。<br/>しかし、他の地域からの要望も多い状況が続いていることから、基本方針を見直し、森林税の活用可能額を増額の上、継続して対応してまいりたい。<br/>(担当：森林政策課 企画係)</p>                  |